

洗足徒然日記

こんにちは、報道委員です。

今回は、2017年6月10日に行われた中学合唱コンクールの報告をします。今年、合唱コンクールは27回目を迎えました。

洗足学園では、全学年共通の課題曲と、各クラス生徒自身で決める自由曲の2曲をコンクールで歌うことになっています。

今回自由曲に選ばれた曲には、スピッツの「空も飛べるはず」、ゆずの「栄光の架け橋」などのポピュラー音楽も数多く含まれ、クラスごとの特色をよく表した、バラエティに富んだ選曲になっていました。

中学生は中間考査が終わると、教育実習生を各クラスで迎え、急いで合唱コンクールの準備を始めます。

クラス内では合唱コンクール計画委員をはじめとし、指揮者、伴奏者、合唱実行委員がクラスを主にまとめ、朝早く自主的に集まって練習するなど、クラス全員で話し合いを重ねて合唱を作り上げていきます。今年も各クラスによってさまざまな工夫がみられました。朝も放課後も、教室からは絶えず美しい歌声が聞こえ、合唱コンクールに対する生徒全員の熱意が感じられました。

合唱コンクール本番。前田ホールには、2週間の練習の集大成である美しくさわやかな歌声が響き渡りました。審査員によって選ばれたクラスには最優秀賞などの賞が贈られましたが、どのクラスからもやりきった！という達成感に満ちた声が聞かれました。進行も非常に円滑に行われ、生徒全員の努力や、中心となってコンクール開催に尽力した合唱実行委員のはたらきにより、合唱コンクールは大成功をおさめました。

クラスが一丸となって一つのものを作り上げることができる合唱コンクールは生徒にとってとても貴重な行事です。

私達は、この合唱コンクールを通して、クラスの絆を深め、また協力して何かを成し遂げることの大切さを学ぶことができたと思います。